

## 平成 30 年度宇部市公共交通協議会第 3 回会議録

日 時 : 平成 31 年 (2019 年) 1 月 23 日 (水) 10:30~11:40

場 所 : 宇部市役所 4 階 第 2・3・4 委員会室

出席者 : 17 名 (欠席者 3 名)

榑原会長、木下副会長、大谷委員、綿部委員、辻野委員、河内委員、  
真辺委員、秋本委員 (代理出席)、吉川委員、藤岡委員、徳光委員 (代理出席)、  
久保委員、吉原委員、木原委員、山根委員、杉原委員、安平委員 (代理出席)

事務局 : 4 名

コンパクトシティ・共生型包括ケア推進グループ  
中村グループリーダー、大木サブリーダー、中祖チーフ、伊藤主任  
障害福祉課 藤原課長、石津主幹

次 第 : 1 会長あいさつ

2 宇部市公共交通協議会設置要綱の改正について (宇部市障害福祉課)

3 議事

(1) 平成 30 年度事業について

(2) 二俣瀬地区デマンドタクシーの変更について

4 その他

### 1 会長あいさつ

### 2 宇部市公共交通協議会設置要綱の改正について (宇部市障害福祉課)

事務局から、先日の文書協議の結果についての報告及び説明を行った。質疑については、以下のとおり。

#### 【委員】

バリアフリーは、いくらハード面が整っても交通事業者の乗務員や関係者の手助けがないと難しいと思います。車いすやベビーカーの利用者は、「助けてください。」と言えないことで公共交通を利用しないので、ハード面だけでなく関係機関への指導や教育などソフト面の充実についてもマスタープランに盛り込んでいただきたいと思います。

#### 【事務局】

マスタープランには、心のバリアフリーという形でソフト面の充実についても記載したいと考えています。

#### 【委員】

バリアフリーは、地区の設定が重要だと思います。図を見ると市役所周辺が設定されるのではないかと思います。宇部駅周辺はどうなるのか、地区設定の方向性を教えていただけないでしょうか。

#### 【事務局】

市役所本庁舎の建て替えがありますので宇部新川駅までの経路周辺を重点地区に設定したいと担当部署では考えております。

また、バリアフリー法の基本方針で1日3,000人以上の駅はバリアフリー整備を行うことになっており、宇部駅が該当しますので、宇部駅周辺も重点地区に設定したいと考えています。

なお、宇部市の観光拠点であるときわ公園周辺も重点地区として検討しています。

#### 【会長】

文書協議で子育て世代や子供の移動という御意見がありましたが、ユニバーサルデザインの考え方でバリアフリー化すれば、皆様の移動を円滑化することができるので、マスタープランに盛り込んでいければ良いと思います。

### 3 議事

#### (1) 平成30年度事業について 【承認】

事務局から、平成30年度事業について説明を行い、承認された。質疑については、以下のとおり。

#### 【委員】

東部乗継拠点を現地で確認しましたが、エアコンや無線LANなどがあるともっと良くなるのではないかと思います。停留所に求められる休憩所、各種表示、駐輪場、太陽光発電などの機能を移動できるプレハブのようなパッケージにして、利便性などによって設置場所も変えていかないといけないのではないかと思います。自動運転など新たな技術が進んでおり、インフラなどの作ったものをずっと使ってもらうためにも、どんどん新しい技術を取り入れていかないといけないと思います。

#### 【事務局】

東部乗継拠点は四面を囲う構造にはなっていないので、エアコンの設置は難しいです。駐輪場は、宇部興産中央病院の駐輪場を使わせていただいています。

停留所の駐輪場は、サイクルアンドライドとして、ときわ公園入口停留所など市内数か所に設置しています。

施設整備などは、交通事業者と協議しながら新しい技術も取り入れていきたいと思っています。

#### 【会長】

東部乗継拠点がこの場所に選ばれたのは、宇部興産中央病院の既存の施設を利用させてもらえること、私有地で道路占用許可などが不要であったことなどと聞いています。

他にも同じように可能性のある場所があるかもしれませんので、引き続き検討していただきたいと思っています。

#### 【委員】

東部乗継拠点により運行形態がどのように変わったのか、また乗降者数を教えてください。

**【委員】**

これまでは、宇部興産中央病院線のみが病院内に乗り入れし、阿知須線・新山口線は病院内に乗り入れせず国道沿いの停留所を使っていました。このたび東部乗継拠点を整備し国道沿いの停留所を病院内に集約し、通過する全ての路線が病院内に乗り入れしています。

1日当たりの乗降者数は、国道沿いが166人で病院内が99人で合計265人となっています。

**(2) 二俣瀬地区デマンドタクシーの変更について 【承認】**

事務局から、平成31年4月1日からの二俣瀬地区デマンドタクシーの変更について説明を行い、承認された。質疑については、以下のとおり。

**【会長】**

新しく運行事業者となる宇部市交通局から一言お願いします。

**【委員】**

他の運行事業者と同様に運転手が不足している状況ですが、大型車両の運転は難しいが小型車両ならという運転手がたまたまいましたので、引き受けることになりました。

車両ですが、購入から10年を経過し老朽化していますので更新する予定です。既存の10人乗りであれば普通2種免許で良いのですが、14人乗りになると大型2種免許が必要となりますので対応していきたいと思います。

**【会長】**

利用者が減少している原因は把握されていますか。

**【事務局】**

スクール便は毎年度10人前後のご利用があり横ばいの状態です。

デマンド便は平成27年度が1,086人、平成28年度が943人、平成29年度が878人と減少傾向が続いています。良く利用されていた方が、お亡くなりになったり、長期入院や施設へ入所されたことが原因です。木田にある老人ホームアスワン山荘入居者の利用が増えています。元々地域に住んでいる方の利用が大幅に減っており、全体で見ると減少しています。

**【会長】**

人口の少ない地域の公共交通は、実際に利用されている人数は少なく、よく利用される何人かの重みが大きく、その1人が抜けてしまうと年間利用者数には大きな影響が出てきます。

地域も利用促進に頑張っておられますので、宇部市交通局も一緒に利用促進に取り組んでいただきたいと思います。

**【委員】**

善和南部の県道西岐波吉見線で、小中学生の通学のために歩道設置の要望をいただいておりますが、現状では設置が難しい状況です。二俣瀬地区デマンドタクシーでの対応を検討していただけないでしょうか。

**【事務局】**

通学状況を確認のうえ検討します。

※善和南部の瀬戸原地区から二俣瀬小学校に通学している児童が確認できたため、スクール便の運行区域に「瀬戸原」を追加することで対応します。

**【委員】**

アスワン山荘は、独自で無料バスなどを運行していますが、その無料バスの運行時間外にこのデマンドタクシーを利用したいが運行ダイヤが合わないということを知りましたので、調査をお願いしたいと思います。

**【事務局】**

アスワン山荘の利用者は増えていきますので、利用実態や入居者の御意見や御要望も聞きながら利用しやすい運行形態にしていきたいと思っています。

**【委員】**

このデマンドタクシーの地域の皆様への周知方法を教えてください。

**【事務局】**

市の広報紙と一緒にチラシを配布したり、校区だよりや自治会の班回覧を利用しています。また地域支援員を通じて行事や集会で周知しています。

専任の運転手が非常に熱心で空き時間を利用して地域を回りデマンドタクシーを宣伝されてきました。

来月、地域の高齢者の事情に精通している民生委員の集まりがありますので、変更内容を周知してもらうとともに、新たな利用者の掘り起こしをお願いしたいと考えています。

**【委員】**

今まで車ばかり利用されていた方が免許を返納して、どのようにしてこのデマンドタクシーを知ることになるのか気になったので質問しました。

**【会長】**

周知については、嘉川タクシーの自発的な御協力も大きかったと思います。

専任運転手ということで、高齢者と小学生に顔を覚えてもらい、地域に密着した公共交通となっていました。

今後、市には福祉部門のネットワークも活用しながら進めていただきたいと思います。

嘉川タクシーについては、山口市の交通事業者ではありますが、長年にわたり二俣瀬地区の移動手段の確保に御努力と御協力をいただいたことに感謝を申し上げたいと思います。

#### 4 その他

事務局から、JR 宇部線の BRT について説明を行った。質疑については、以下のとおり。

**【会長】**

宇部市では平成 28 年度に都市計画マスタープランを改定し、公共交通では平成 27 年度に地域公共交通網形成計画を策定し、今年度中に立地適正化計画が策定される予定です。

これらの計画の中で JR 宇部線は、東西方向の都市軸として位置付けられています。JR 宇部線の BRT 化は、都市軸の重要性という基本的な考え方は一致しており、より良い交通システムを検討する中で出てきた選択肢の 1 つだと思っています。

宇部市と JR の関係は、JR 宇部線開業 100 周年で JR 宇部線利用促進協議会を立ち上げ、はなびーる電車や草江駅駅舎アートなど様々な取組を通じて協力関係ができています。

地域とも、駅周辺の自治会や高校等による清掃活動などを通じて、関係が築けており、このような背景を基にした信頼関係があったので、今回の話があったのだと思っています。

関係者の皆様には、この関係を大切にしながら対応していただきたいと思っています。

技術な面で現在話しておきたいことは、関係者も認識されていると思いますが、朝の通学時間帯にはかなりの利用があるので、そこをきちんと対応できるかどうかは鍵だと思っています。

#### 【委員】

この件について、協議会の役割はどうなるのでしょうか。

#### 【事務局】

今後の検討は、関係自治体や JR で構成する勉強会で進めていくことになりますが、公共交通の計画にも関わる部分については、協議会の皆様にもお示ししたいと思っています。

BRT については、導入する前提の検討ではなく、専用道を使えば定時性・速達性が確保できるのではないかということで、現在の JR 宇部線の軌道敷を利用した場合の整備費や採算面などを含めて導入が可能かどうかをこれから検討していきます。

#### 【会長】

元々は地域の公共交通を良くしていこうという中から出てきた話なので、前向きに捉えています。